

はじめに

今日の食料・農業・農村を取り巻く現状は、農業者の高齢化や後継者不足による担い手の減少、産地間競争の激化などに加え、経済のグローバル化などの諸課題が山積する中で、更なる食の安全性の確保や地産地消の推進、これらを支える農業経営の体質強化などが求められています。



こうした中、本市におきましては、このたび、平成30年度から今後10年間を見通した山口市の食料・農業・農村振興の基本的指針となります「山口市食料・農業・農村振興プラン」を策定いたしました。

このプランにおきましては、目指すべき将来像を「みんなで育む農業・住み続けられる農村 ～誰からも愛される農業をめざして～」といたしまして、本市の農業が次世代に継承され、将来に渡って安定的かつ持続的な発展が期待できる職業として確立されるよう取り組むことといたしております。

プランの推進にあたりましては、持続可能な農業への仕組みづくり、身近で親しみのある食と農の関係づくり、魅力ある住みたい農村づくりの3つの基本目標の達成に向けて、重点的かつ戦略的な施策を展開することによりまして、目指すべき将来像の実現に取り組んでまいります。また、市民一人ひとりが食料・農業・農村が果たしている重要性について理解を深めていただきますとともに、関係機関・団体等と連携を図りながら、美しく活力ある農村を継承してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本プランを第二次山口市総合計画とともに着実に実施することによりまして、市民の皆様に豊かな暮らしを実感していただき、住み続けたいまち、住んでよかったと思えるまち、交流を創り出すまちを築いてまいりたいと考えております。

結びに、本プランの策定にあたり、熱心な御審議のもと貴重な御意見や御提言をいただきました山口市食料・農業・農村振興プラン策定委員会の委員の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位並びに多くの市民の皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成30年（2018年）3月

山口市長 渡辺純忠